

- 6/8 ノーリフトセミナー
- 医療介護総合法成立
- 医療研究集会終わる

「変えられない」を
「変えていく」

熱く語る
保田淳子氏



…拘縮は持ち上げる事でも起こる。重力をうまく利用すると筋緊張が変化し、10分で拘縮が改善する事がある。…

↓実際の患者さんを想定して実技で確かめる
参加者



← 僕の体重でもこの
リフトは大丈夫でしょうか？



裏面有

腰痛ゼロめざしてノーリフト

富山県医労連は、6月8日サンフォルテにて、“いきいきと働き続ける為に、腰痛ゼロめざして看護・介護実践公開セミナー”を開催しました。特養・老健・グループホーム等の施設から13人、訪問介護事業所から2人、通所介護事業所から4人、福祉用具貸与事業所から1人の計20人の方が一般参加されました。組合員も含めると、介護職・看護師・福祉用具専門相談員・理学療法士・事務職の計42人が、ノーリフトの理念、技術を学びました。

参加者は、保田先生のノーリフトの理念に基づいた講演を聞いた後、4台のベッドを使い、スライディングシートを使った移乗・体位交換等リフトだけにとられない実践的な技術を学びました。「腰痛は職業病であるならプロとしてなくすのが当然！決して腰痛が当たり前になってはならない。」との保田先生の熱い語りかけに、参加者は大きくうなずいていました。また適切なポジショニングと拘縮に

ついて考えたケア方法は目からうろこでした。

参加者の感想文から抜粋……「職場に帰って腰痛を持ちながら頑張っている職員たちに少しでも役にたてるよう話をできたらと思います」「スライディングシート、体交クッションの間違った使い方を直し、正しい使い方を指導できるよう自分自身努力したいです。」「介護専門学校を卒業して2カ月、今回の事を現場で生かしたい。」「患者さんの現象を、「今」という「点」でとらえるのではなくその人の歴史の中で、見ていくこと、また、適切なポジショニングができれば、よい方向への変化が出せることを体験しました。」「自分の施設への講演をお願いしたいと思った。」「ノーリフトを通して、今の職場が働きやすい環境なのか考える事が出来ました。現場に反映させるため、成功体験を大切に、うまく広げていきたいと思う」



実践セミナー終わる

医療介護総合法成立



6月18日、医療介護総合法が参議院本会議で自民公明両党の賛成で可決成立しました。患者利用者・医療介護従事者・自治体の声を無視した、数に頼んでの強行採決です。富山県医労連は、この間4・24ヒューマンチェーン国会包囲行動、事業所への団体署名のお願い訪問行動などを行い「この法案を何としても廃案に」と取り組みを強めてきました。医療・介護総合法は成立しましたが、論拠は破たんし、このままいくと矛盾が深まるのは避けられません。私たちは介護医療難民がさらに増える医療介護総合法の撤回を求めます。以下は、日本医労連の声明です。



国民のいのちを軽視した「医療介護総合法」強行に抗議する

2014年6月19日

日本医療労働組合連合会

6月18日、安倍自公政権は国民のいのちと健康に直結する大改悪法「医療介護総合法案」を衆議院に続き、参議院本会議においても不十分な審議のまま強行可決した。国民のいのちと健康にかかわる職場に働く私たちは、国民のいのちを軽視する法案を乱暴に強行したことに対して抗議する。

この間の厚生労働委員会審議では政府提案のミスが明らかになり、大臣自身が「撤回」「反省」を繰り返したにもかかわらず、差し戻しの検討もせずに強行したのは国民軽視の傲慢な態度である。また、19本もの重要法案を一括で審議するなどの声は、参考人や野党議員のみならず、多くの国民の声であった。審議は全く不十分で、国民に対する責任を果たしていない。

必要な時に必要な医療や介護を受けるのは、国民の権利である。今回の「総合法」は、病床の再編・削減を都道府県に主導させ、従わない医療機関に制裁措置をとるとしている。また介護では、要支援者の訪問・通所介護の保険給付はずし、特養ホームの入所を要介護3以上に限定、根拠が崩壊した利用率2割負担の強行など問題だらけである。医療や介護の利用は、早期であればあるほど費用が抑えられ予後も良い。そのことを保障するのは、国の制度の充実、自己負担軽減、フリーアクセスである。

また、「総合法」には看護師等による「特定行為」の制度化も入っており、厚生労働委員会においても安全性が議論された看過できない問題である。介護における無資格者やボランティアへの誘導も、介護の専門性を否定している。日本医労連は、安全・安心の医療・介護提供のためには安易な業務委譲ではなく、必要な医療・介護従事者を増やすことが必要だと主張してきた。それぞれの職種の専門性の発揮と質を向上させることが政府の役割であって、業務委譲によって解決できる問題ではない。

多くの問題を積み残したまま、国民の反対の声にも耳をかさず強行したことにあらためて抗議し、国民のいのちと健康を守る立場に立って撤回を求める。

以上

2014.6.14~15 医療研



←写真 6.14 吾妻橋からみたスカイツリー。

医療研究全国集会終わる

医療研究全国集会は、今年で41回目を迎え東京で開催されました。冒頭山田委員長は「今回のテーマは“生かそう憲法、社会保障の充実を。学び交流し、

地域から安全・安心の医療・介護・福祉を築こう”です。本集会で各地の取り組みを交流し、国民の求める医療福祉の実現に向かって大きく連帯を広げていこう」と挨拶。富山県からは作業療法士が演題をもって参加しました。来年は鹿児島で開催されます。